

クスノキとワイヤーロープの話

行岡病院 保安係 伊藤健一

信号待ちした通勤バスの窓から中央分離帯に植えられたクスノキ数本が見える。毎日、見ていて、何か、おかしい…と、思った。

気になったので、ある日、クスノキの近くの停留所に降り、現場に行った。クスノキは23本あって、1本1本がワイヤーロープで、ささえられている。植えた時は、ささえの役目をしていたが、クスノキが大きく太く成長して、ロープが幹に食い込んで、あまりにも痛ましい姿なので、大阪市の担当課にクスノキの惨状を知らせておいた。

2週間ほど過ぎ、バスの窓から見るとクスノキのワイヤーロープが無くなっている。担当課から、ロープは切りましたが、幹に食い込んだロープは取ることが出来ないと連絡があった。ところが、である。最近、クスノキの下に立ってロープが食い込んでいた箇所を見て、びっくり、クスノキが食い込んだワイヤーロープの切れ端を幹から少しづつ吐き出すようにしていた。あらためて樹木の不思議な力に感動した。

今、23本のクスノキは、勢い良く枝を伸ばし、青緑の葉が、バスの窓に届くほどである。夜勤を終えて、朝、帰宅する途中に元気なクスノキたちを見ると、私も、苦しいこと、悲しいことに負けないで、力強く生きていこうと思った。



デイ・ケア消防訓練

平成13年9月18日(火) 午前10:30から、「ゆきおか老人デイ・ケア」において北消防署のご指導のもと、消防訓練が行われました。

デイ・ケアでは高齢の方が多いため、今回の訓練の目的は、まず患者さまを安全なところに避難して頂くことに重点をおきました。

当日は職員の誘導により、車椅子の患者さまを施設の外に避難して頂く訓練の後、職員による消火訓練も行いました。最近、新宿のビル火災があったばかりで、火事や地震に対する防災の認識を改めて感じました。



(写真は当日の訓練の様です)



今回は植物の生きる強さに教えられる記事が多くとくに巻頭の栗栖先生の文章によると、ライムギの根は、1日あたりおよそ93キロメートルも成長する計算になります。驚くべき速さです。

振返って考えると、私たち人間の「日々の心の成長速度」は果たしてどの程度あるのでしょうか。

(編集部：松田雄二)

ひこばえ

Vol.11

—ゆきおかニュース—

行岡病院・行岡学園 広報部 大阪市北区浮田2-2-3 TEL: 6371-9921(代)
行岡病院 <http://www.yukioka.or.jp/> 行岡学園 <http://www.yukioka.ac.jp/>



ライムギの根

行岡学園 顧問 栗栖 浩二郎

最近読んだ本(瀧本 敦著『ヒマワリはなぜ東を向くか』、中央公論社)の中に面白いことが書いてあった。アメリカ・アイオワ州立大学のDittmerは、30cm四方、深さ56cmの植木鉢に一本のライムギを植えて4カ月間育てたのちに取り出した。土を注意深く洗い落として、根の長さを一本一本ていねいに測定したところ、その合計は約620キロメートルに達した。これは東京から西明石の先までの距離に相当する。さらに、実体顕微鏡でないと見えない根の表面の小さな毛(根毛)の長さを加えると、根の全長は実に11,200キロメートルに達したという。これは、地球の3分の1周に相当する長さである。たった一本のライムギが4カ月間につくる根がこれほどの長さに達するとはとても信じ難いことである。植物が必要とする無機養分は地中のどこにでもあります。

最近読んだ本(瀧本 敦著『ヒマワリはなぜ東を向くか』、中央公論社)の中に面白いことが書いてあった。アメリカ・アイオワ州立大学のDittmerは、30cm四方、深さ56cmの植木鉢に一本のライムギを植えて4カ月間育てたのちに取り出した。土を注意深く洗い落として、根の長さを一本一本ていねいに測定したところ、その合計は約620キロメートルに達した。これは東京から西明石の先までの距離に相当する。さらに、実体顕微鏡でないと見えない根の表面の小さな毛(根毛)の長さを加えると、根の全長は実に11,200キロメートルに達したという。これは、地球の3分の1周に相当する長さである。たった一本のライムギが4カ月間につくる根がこれほどの長さに達するとはとても信じ難いことである。植物が必要とする無機養分は地中のどこにでもあります。

このことはヒトにも当てはまるのではないかと。われわれが何かの目標を達成しようとする時、自分では相当に努力したつもりでも、それが確かな成果として実るところは少なく、さらにそれが人格の一部として定着するのはそのうちのごく僅かにすぎず、努力は他人からは殆ど見えない。自分自身ではどのくらい努力したかはよく分かっているのに、その成果を他人から認められ、評価されなければ不満をもちがちである。評価を求めず、ただ黙々として懸命に生きるライムギに学ぶところは大きい。



等速運動機器 (Biodex: バイオデックス) 導入!

行岡病院 理学療法科 椎木孝幸

今年の3月末に念願の等速運動機器 (Biodex) が行岡病院理学療法科に導入されました。等速運動機器とは、身体各部の関節に一定の速度の運動を行わせ、その時に生じる筋力を測定する機械です。数ある機器の中でも、Biodexは最新で信頼性に優れています。最大筋力の他、各速度での最大筋力に到達するまでの時間や筋肉の疲労具合などの細かい筋機能評価、さらに筋力トレーニングを行うことができます。

Biodexの導入により、患者さまの訓練に対する意欲の向上、データを基にした効果的な治療を患者さまに提供できるようになってきました。

現在、膝のスポーツ傷害の患者さまを中心

に使用していますが、将来的には、リウマチ、他の関節障害の筋力トレーニング、筋力測定も行っていきたいと思います。

我が筋力に自信のある方、お気軽に理学療法士までご相談下さい。



「1日看護体験」感想文

本年7月25日、行岡病院において「1日看護体験」が行われ、高校生計37名が参加されました。この体験について感想文を寄せて頂きました。その中の一つを以下に掲載させていただきます。

府立阪南高等学校 3年生 富永 綾美

今回の体験をさせて頂いてすごく勉強になりました。看護婦さんというと、テレビなどで見ていてもとても大変な仕事というは知っていましたが、今日実際に体験してみて本当に体力が必要だと思いました。

また、お年寄りの患者様に対して、床ずれができないように2時間おきに寝ている姿勢を変えるようにするとか、より気持ちよく過ごしてもらえるように細かい所にまで気配りをしておられ、看護婦さんの優しさというものがひしひしと感ずることができ、看護婦を目指す励みになり、今回参加させて頂いたことはとても良かったと思います。

私が体験した病棟では介護士さんがたくさんおられ、入浴介助や足浴、排せつ介助なども見学させて頂き、介護の面でも勉強になりました。私も実際に足浴をお手伝いさせて頂

きましたが、終わった時の患者様の笑顔がとても嬉しかったです。

病棟での看護婦さんと介護士さんともコミュニケーションもすごく良くて、楽しそうに思えました。私も将来あのような笑顔を見せることができる看護婦さんを目指して頑張りたいと思います。

行岡病院 看護部より

「1日介護体験」には毎年市内の高校から多くの生徒さんが参加されています。療養中の患者様もいつもとは違ったお孫さんを見る様な表情で楽しそうにされているのが伝わってきました。

ホームヘルパー養成課程を終えて

平成13年度修了生 三谷美沙子

桜の花が咲く季節から今年の夏の猛暑の中、私達ホームヘルパー2級養成者は無事全課程を終える事ができました。20代の若い学生と中高年の男性と女性が同じクラスで学び、これこそ世代を越えたバリアフリーの学習となりました。

実習も含め全課程を修了できたのは、充実した学園内の設備と各講師の先生方の熱心なご指導のお陰だと感謝して居ります。

特に今回初めての試みで行岡病院内の介護病棟で実習させて頂きました。一番最初に感じた事は、「日本の高齢化社会」と「介護福祉」の実態を体験し、中途半端な気持ちではヘルパーは務まらないと考えさせられました。

病棟内では比較的若いヘルパー職員が多く、てきぱきと明るく元気よくスピーディーに介護されている姿には頭が下がりました。利用者の方々にもそれぞれの歩んで来た人生があり、「身体介護」だけでなく「心の介護」の必要

性も痛切に感じました。

今後の課題として「ハード面」だけでなく、「ソフト面」に中高年のヘルパーの活躍の場が広がる事を希望します。

行岡保健衛生学園ホームヘルパー修了生として胸をはって今後の仕事に貢献して参りたいと思っています。

半年間沢山の皆様大変お世話になり、心より御礼申し上げます。



行岡リハビリテーション専門学校 夜間部課程設置

行岡リハビリテーション専門学校において、平成14年4月より理学療法学科夜間部課程を開設します。(平成13年9月現在認可申請中) 定員40名で修業年限4年間です。

高齢社会を迎えた現在、理学療法士の活躍する分野は主たる医療機関から、福祉施設や在宅へと確実に拡大されてきており、以前より夜間課程の増設を期待する声が寄せられていたこともあり、この度の設置申請に至りました。

教職員一同、30年余の理学療法士育成の実績をもとにして、理念と実績力に富んだ理学療法士を育てるため開設の準備を行っています。ご期待下さい。

